



平成31年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年12月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ディー・エル・イー

コード番号 3686

URL <http://www.dle.jp/>

代表者（役職名）代表取締役

（氏名）椎木 隆太

問合せ先責任者（役職名）執行役員

（氏名）高倉 喜仁

（TEL）03-3221-3980

四半期報告書提出予定日 平成30年12月3日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 平成31年6月期第1四半期の連結業績（平成30年7月1日～平成30年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年6月期第1四半期	1,489	6.8	112	12.0	110	9.2	△39	—
30年6月期第1四半期	1,394	27.3	100	80.4	100	89.2	80	—

（注）包括利益 31年6月期第1四半期 21百万円（△75.0％） 30年6月期第1四半期 86百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年6月期第1四半期	△1.94	—
30年6月期第1四半期	3.99	3.93

（注）平成31年6月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失金額であるため、記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年6月期第1四半期	6,188	1,380	18.9
30年6月期	6,074	1,359	19.9

（参考）自己資本 31年6月期第1四半期 1,166百万円 30年6月期 1,206百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
31年6月期	—	—	—	—	—
31年6月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成31年6月期の連結業績予想（平成30年7月1日～平成31年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,169	△6.9	150	61.7	130	50.2	△603	—	△29.70

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（平成30年12月3日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年6月期1Q	20,337,200株	30年6月期	20,337,200株
② 期末自己株式数	31年6月期1Q	－株	30年6月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年6月期1Q	20,337,200株	30年6月期1Q	20,242,129株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がございますので、この業績予想に全面的に依拠しての投資等の判断を行うことは差し控えてくださいますようお願い申し上げます。なお、上記予想に関する事項は決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和等を背景に緩やかな回復傾向が続いております。一方で、米国の政策動向、中国及び新興国経済の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境においては、スマートフォンやタブレットPCなどのスマートデバイスの普及が世界規模で急速に拡大し、それに伴い、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）、動画配信サイト、ソーシャルゲーム、コミュニケーションアプリなどのサービスの利用が拡大しております。

そのような環境変化は、人々のライフスタイルを、スマートデバイス等を使い、最適メディアを選択し、必要なときに必要な時間だけコンテンツを消費し、SNS等を使って即時に情報や感動を共有するといったメディア接触方法の多様化、コンテンツ視聴の短時間化、情報共有のリアルタイム化へと世界規模で変化させ、「スキマ時間に楽しめるショートコンテンツ」といった新たな付加価値へのニーズを急速に拡大させてきました。

また、インターネット動画配信等の新興メディアの興隆で競争が激化するメディア業界においては、オリジナルコンテンツによる差別化の重要性が増してきております。

このような事業環境の中、当社では、視聴者や消費者等の多様化し変化の早い嗜好や価値観、旬な時事ネタ等を捉え、適時に対応することを強みとするファスト・エンタテインメント事業を展開し、インターネット時代にマッチしたオリジナルコンテンツを量産してまいりました。

「TOKYO GIRLS COLLECTION」においては、ファッション・ビューティーに関する情報の発信源として日本のガールズカルチャーを世界に発信する取組みをしてまいりました。

ソーシャル・コミュニケーション領域においては、IP（Intellectual Property：主にキャラクター等の著作権や商標権等の知的財産権）を開発・取得し、動画広告等のマーケティングサービス提供及びスマートフォン向けゲームアプリやメッセージングアプリ向けスタンプ等のデジタルコンテンツの企画開発・配信などを行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、IPの露出先の拡大や展開手法の多様化による、IP価値の成長に連動し、各サービスを展開いたしました。その結果、「マイナビ presents 第27回東京ガールズコレクション2018 AUTUMN/WINTER」の開催及び北陸地方初となる「プレステージ・インターナショナルpresents TGC TOYAMA 2018 by TOKYO GIRLS COLLECTION」の開催等による「TOKYO GIRLS COLLECTION」ブランドの伸長により売上及び利益は増加いたしました。

IPクリエイション領域においては、IPの新規開発及び映画・TV・ネットメディア等の映像コンテンツの企画開発・制作及び総合的なプロデュースを展開しております。

当第1四半期連結累計期間においては、各IPのTVシリーズ・WEBシリーズの継続により認知度向上及び世界観醸成に努めるとともに新規映画作品として、アヌシー国際アニメーション映画祭出品作であり、プチョン国際アニメーション映画祭長編部門において優秀賞・観客賞を受賞した、劇場版「若おかみは小学生！」の公開等を行いました。その結果、納品数が減少したため売上は減少したものの、利益率の高い納品が多かったことから、利益は前年同四半期連結累計期間と比較して増加いたしました。

一方で、当社において、特別調査費用16,846千円及び減損損失21,560千円を特別損失として計上したこと等により、前年同四半期連結累計期間と比較して利益は減少いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,489,532千円（前年同四半期比6.8%増）、営業利益は112,108千円（前年同四半期比12.0%増）、経常利益は110,019千円（前年同四半期比9.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純損失は39,356千円（前年同四半期は80,730千円の利益）となっております。

なお、当社グループは、ファスト・エンタテインメント事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して113,837千円増加し、6,188,563千円となりました。これは、受取手形及び売掛金381,239千円の増加があったものの、現金及び預金204,925千円、仕掛品57,703千円の減少を主要因とするものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して93,099千円増加し、4,808,345千円となりました。これは、買掛金289,711千円の増加があったものの、長期借入金113,246千円、短期借入金50,000千円の減少を主要因とするものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して20,738千円増加し、1,380,218千円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失39,356千円の計上及び非支配株主に帰属する四半期純利益61,018千円の計上を主要因とするものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、当第1四半期連結累計期間における業績の動向を踏まえ、平成30年8月14日に公表いたしました平成31年6月期の連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日付で開示しております「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,608,772	2,403,847
受取手形及び売掛金	1,033,468	1,414,708
仕掛品	166,444	108,741
その他	678,349	688,390
貸倒引当金	△16,230	△17,614
流動資産合計	4,470,803	4,598,071
固定資産		
有形固定資産	13,303	13,686
無形固定資産		
のれん	594,122	575,935
商標権	533,123	513,756
その他	2,940	3,223
無形固定資産合計	1,130,187	1,092,915
投資その他の資産		
投資有価証券	158,306	188,516
関係会社株式	194,090	188,090
その他	108,035	107,283
投資その他の資産合計	460,431	483,890
固定資産合計	1,603,922	1,590,491
資産合計	6,074,726	6,188,563
負債の部		
流動負債		
買掛金	376,295	666,006
短期借入金	1,130,000	1,080,000
1年内返済予定の長期借入金	489,519	486,893
賞与引当金	12,000	6,769
未払金	789,132	721,923
その他	497,997	537,070
流動負債合計	3,294,944	3,498,663
固定負債		
長期借入金	1,420,302	1,309,682
固定負債合計	1,420,302	1,309,682
負債合計	4,715,246	4,808,345
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,530,233	1,530,233
資本剰余金	1,868,097	1,868,097
利益剰余金	△2,191,348	△2,231,628
株主資本合計	1,206,982	1,166,702
新株予約権	4,738	4,738
非支配株主持分	147,758	208,777
純資産合計	1,359,479	1,380,218
負債純資産合計	6,074,726	6,188,563

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年7月1日 至平成30年9月30日)
売上高	1,394,360	1,489,532
売上原価	994,074	1,067,432
売上総利益	400,286	422,100
販売費及び一般管理費	300,174	309,991
営業利益	100,112	112,108
営業外収益		
受取利息	27	33
助成金収入	4,800	570
その他	360	362
営業外収益合計	5,188	966
営業外費用		
支払利息	2,580	3,055
株式交付費	348	—
その他	1,626	—
営業外費用合計	4,555	3,055
経常利益	100,745	110,019
特別損失		
減損損失	47,187	21,560
特別調査費用	—	16,846
特別損失合計	47,187	38,407
税金等調整前四半期純利益	53,557	71,611
法人税、住民税及び事業税	12,442	48,261
法人税等調整額	△45,409	1,687
法人税等合計	△32,967	49,949
四半期純利益	86,524	21,661
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,793	61,018
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	80,730	△39,356

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年7月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	86,524	21,661
四半期包括利益	86,524	21,661
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	80,730	△39,356
非支配株主に係る四半期包括利益	5,793	61,018

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、ファスト・エンタテインメント事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。